

長崎県公立大学法人の中期計画〔第4期〕(新旧対照表)

変更後	変更前		
I 大学の教育研究の質の向上及び地域貢献に関する目標を達成するための措置 1 教育に関する目標を達成するための措置 (1) 【1】～(2) 【3】 略 (3) 専門的知識・技術の修得及び外国語運用能力の向上並びにそれを下支えする基盤的教育の充実 【4】 <u>(令和8年度～令和10年度)</u> <u>教職員等による学習支援を行い、学生に必要な専門的知識や技術、外国語運用能力を修得させる。また、卒業要件として設定している外部検定などは効果検証を行ったうえで改善を図る。</u> <table><tr><td>達成水準</td><td> ① <u>学則で外部検定などの卒業要件を定めている学科においては、その確実な達成につながる学習支援を行う。また、外部検定等の効果を検証し、より効果的な仕組みとなるよう廃止等を含めた見直しを図る。</u> ② <u>看護栄養学部においては、看護師または管理栄養士の国家試験合格率100%を目指す。</u> <u>(ア) 看護学科</u> <u>○看護師国家試験において合格率100%を目指し、少なくとも国公立大学平均水準を確保する。</u> <u>(イ) 栄養健康学科</u> <u>○管理栄養士国家試験において合格率100%を目指し、少なくとも国公立大学平均水準を確保する。</u> <u>特に、卒業後管理栄養士資格が必要な者の確実な合格を目指す。</u> </td></tr></table>	達成水準	① <u>学則で外部検定などの卒業要件を定めている学科においては、その確実な達成につながる学習支援を行う。また、外部検定等の効果を検証し、より効果的な仕組みとなるよう廃止等を含めた見直しを図る。</u> ② <u>看護栄養学部においては、看護師または管理栄養士の国家試験合格率100%を目指す。</u> <u>(ア) 看護学科</u> <u>○看護師国家試験において合格率100%を目指し、少なくとも国公立大学平均水準を確保する。</u> <u>(イ) 栄養健康学科</u> <u>○管理栄養士国家試験において合格率100%を目指し、少なくとも国公立大学平均水準を確保する。</u> <u>特に、卒業後管理栄養士資格が必要な者の確実な合格を目指す。</u>	I 大学の教育研究の質の向上及び地域貢献に関する目標を達成するための措置 1 教育に関する目標を達成するための措置 (1) 【1】～(2) 【3】 略 (3) 専門的知識・技術の修得及び外国語運用能力の向上並びにそれを下支えする基盤的教育の充実 【4】
達成水準	① <u>学則で外部検定などの卒業要件を定めている学科においては、その確実な達成につながる学習支援を行う。また、外部検定等の効果を検証し、より効果的な仕組みとなるよう廃止等を含めた見直しを図る。</u> ② <u>看護栄養学部においては、看護師または管理栄養士の国家試験合格率100%を目指す。</u> <u>(ア) 看護学科</u> <u>○看護師国家試験において合格率100%を目指し、少なくとも国公立大学平均水準を確保する。</u> <u>(イ) 栄養健康学科</u> <u>○管理栄養士国家試験において合格率100%を目指し、少なくとも国公立大学平均水準を確保する。</u> <u>特に、卒業後管理栄養士資格が必要な者の確実な合格を目指す。</u>		

変更後	変更前				
<u>(令和5年度～令和7年度)</u> 学生に卒業要件を早期に達成させ、必要な専門的知識や技術、外国語運用能力を修得させる。また、毎年度の達成状況及び支援状況を検証し、必要に応じて支援方法の改善を行う。 さらなる学業意欲がある学生に対しては高い目標を定め、その達成を目指す。 <table border="1" data-bbox="226 496 1093 1460"> <tr> <td data-bbox="226 496 353 1460">達成水準</td><td data-bbox="353 496 1093 1460"> ① 教職員等による学習支援を行い、次の要件を3年修了時までに9割以上の学生に修得させる。 ア 経営学部 (ア) 経営学科 日経TEST※430点、日商簿記検定※2級、FP技能検定※2級、リテールマーケティング（販売士）検定※2級のいずれかを修得させる。 (イ) 国際経営学科 TOEIC※730点を修得させる。 イ 地域創造学部 (ウ) 公共政策学科 日経TEST430点、ニュース時事能力検定※2級のいずれかを修得させる。 (エ) 実践経済学科 日経TEST430点を修得させる。 ウ 国際社会学部 (オ) 国際社会学科 【英語選択者】TOEIC730点を修得させる。 </td></tr> </table>	達成水準	① 教職員等による学習支援を行い、次の要件を3年修了時までに9割以上の学生に修得させる。 ア 経営学部 (ア) 経営学科 日経TEST※430点、日商簿記検定※2級、FP技能検定※2級、リテールマーケティング（販売士）検定※2級のいずれかを修得させる。 (イ) 国際経営学科 TOEIC※730点を修得させる。 イ 地域創造学部 (ウ) 公共政策学科 日経TEST430点、ニュース時事能力検定※2級のいずれかを修得させる。 (エ) 実践経済学科 日経TEST430点を修得させる。 ウ 国際社会学部 (オ) 国際社会学科 【英語選択者】TOEIC730点を修得させる。	学生に卒業要件を早期に達成させ、必要な専門的知識や技術、外国語運用能力を修得させる。また、毎年度の達成状況及び支援状況を検証し、必要に応じて支援方法の改善を行う。 さらなる学業意欲がある学生に対しては高い目標を定め、その達成を目指す。 <table border="1" data-bbox="1249 496 2116 1460"> <tr> <td data-bbox="1249 496 1377 1460">達成水準</td><td data-bbox="1377 496 2116 1460"> ① 教職員等による学習支援を行い、次の要件を3年修了時までに9割以上の学生に修得させる。 ア 経営学部 (ア) 経営学科 日経TEST※430点、日商簿記検定※2級、FP技能検定※2級、リテールマーケティング（販売士）検定※2級のいずれかを修得させる。 (イ) 国際経営学科 TOEIC※730点を修得させる。 イ 地域創造学部 (ウ) 公共政策学科 日経TEST430点、ニュース時事能力検定※2級のいずれかを修得させる。 (エ) 実践経済学科 日経TEST430点を修得させる。 ウ 国際社会学部 (オ) 国際社会学科 【英語選択者】TOEIC730点を修得させる。 </td></tr> </table>	達成水準	① 教職員等による学習支援を行い、次の要件を3年修了時までに9割以上の学生に修得させる。 ア 経営学部 (ア) 経営学科 日経TEST※430点、日商簿記検定※2級、FP技能検定※2級、リテールマーケティング（販売士）検定※2級のいずれかを修得させる。 (イ) 国際経営学科 TOEIC※730点を修得させる。 イ 地域創造学部 (ウ) 公共政策学科 日経TEST430点、ニュース時事能力検定※2級のいずれかを修得させる。 (エ) 実践経済学科 日経TEST430点を修得させる。 ウ 国際社会学部 (オ) 国際社会学科 【英語選択者】TOEIC730点を修得させる。
達成水準	① 教職員等による学習支援を行い、次の要件を3年修了時までに9割以上の学生に修得させる。 ア 経営学部 (ア) 経営学科 日経TEST※430点、日商簿記検定※2級、FP技能検定※2級、リテールマーケティング（販売士）検定※2級のいずれかを修得させる。 (イ) 国際経営学科 TOEIC※730点を修得させる。 イ 地域創造学部 (ウ) 公共政策学科 日経TEST430点、ニュース時事能力検定※2級のいずれかを修得させる。 (エ) 実践経済学科 日経TEST430点を修得させる。 ウ 国際社会学部 (オ) 国際社会学科 【英語選択者】TOEIC730点を修得させる。				
達成水準	① 教職員等による学習支援を行い、次の要件を3年修了時までに9割以上の学生に修得させる。 ア 経営学部 (ア) 経営学科 日経TEST※430点、日商簿記検定※2級、FP技能検定※2級、リテールマーケティング（販売士）検定※2級のいずれかを修得させる。 (イ) 国際経営学科 TOEIC※730点を修得させる。 イ 地域創造学部 (ウ) 公共政策学科 日経TEST430点、ニュース時事能力検定※2級のいずれかを修得させる。 (エ) 実践経済学科 日経TEST430点を修得させる。 ウ 国際社会学部 (オ) 国際社会学科 【英語選択者】TOEIC730点を修得させる。				

変更後			変更前		
意欲的な 達成水準		【中国語選択者】中国語検定※2級を修得させる。 エ 情報システム学部 (カ) 情報システム学科 基本情報技術者試験※、情報セキュリティマネジメント試験※、Webデザイナー検定エキスパート※、CGクリエイター検定エキスパート※、CGエンニア検定エキスパート※、画像処理エンジニア検定エキスパート※のいずれかを修得させる。 (キ) 情報セキュリティ学科 情報セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験のいずれかを修得させる。	意欲的な 達成水準		【中国語選択者】中国語検定※2級を修得させる。 エ 情報システム学部 (カ) 情報システム学科 基本情報技術者試験※、情報セキュリティマネジメント試験※、Webデザイナー検定エキスパート※、CGクリエイター検定エキスパート※、CGエンニア検定エキスパート※、画像処理エンジニア検定エキスパート※のいずれかを修得させる。 (キ) 情報セキュリティ学科 情報セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験のいずれかを修得させる。
		② さらに学業意欲がある学生に対して、①の要件を超える高い目標を設定して組織的に指導・支援を行い、その達成を目指す。ただし、看護栄養学部においては、看護師または管理栄養士の国家試験合格率100%を目標に設定する。 ア 経営学部 (ア) 経営学科が掲げる高い目標 ○経営に関する基礎理論と企業等が活動する社会の仕組みについて基本的な知識を深める。2年次、3年次の実践科目において、地域経営体が抱える課題に対する解決策、地元での起業につながる新規ビジネスプランを提案させる。このようにして実践力を身に付けさせ、地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文を提出する学			② さらに学業意欲がある学生に対して、①の要件を超える高い目標を設定して組織的に指導・支援を行い、その達成を目指す。ただし、看護栄養学部においては、看護師または管理栄養士の国家試験合格率100%を目標に設定する。 ア 経営学部 (ア) 経営学科が掲げる高い目標 ○経営に関する基礎理論と企業等が活動する社会の仕組みについて基本的な知識を深める。2年次、3年次の実践科目において、地域経営体が抱える課題に対する解決策、地元での起業につながる新規ビジネスプランを提案させる。このようにして実践力を身に付けさせ、地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文を提出する学

変更後			変更前		
		生数が5名以上となることを目指す。 ○卒業年次までに学生のうち1割以上が卒業要件の上位レベル(日商簿記検定1級、全経簿記能力検定※上級、リテールマーケティング(販売士)検定1級、日経TEST520点のいずれか)に到達できるよう組織的に指導・支援し、達成を目指す。 (イ) 国際経営学科が掲げる高い目標 ○海外ビジネス研修等の経験を積ませ、国際的な経営感覚を身につけさせるとともに、学業意欲を向上させ、卒業年次までに学生のうち1割以上がTOEICのAレベル(860点)に到達できるよう組織的に指導・支援し、達成を目指す。 イ 地域創造学部 (ウ) 公共政策学科が掲げる高い目標 ○公共性の高い地域貢献活動等の経験を積ませることによって学生の社会貢献意識を高めさせるとともに、教育による能力開発や日々の生活指導を積極的に行うことで、公務員を希望する学生の公務員就職率を60%とすることを旨とする。 ○卒業年次までに学生の1割以上が卒業要件の上位レベル(日経TEST520点、ニュース時事能力検定1級のいずれか)に到達できるよう組織的に指導・支援し達成を目指す。 (エ) 実践経済学科が掲げる高い目標 ○「企業インターンシップ」(2年次必修科目)において、			生数が5名以上となることを目指す。 ○卒業年次までに学生のうち1割以上が卒業要件の上位レベル(日商簿記検定1級、全経簿記能力検定※上級、リテールマーケティング(販売士)検定1級、日経TEST520点のいずれか)に到達できるよう組織的に指導・支援し、達成を目指す。 (イ) 国際経営学科が掲げる高い目標 ○海外ビジネス研修等の経験を積ませ、国際的な経営感覚を身につけさせるとともに、学業意欲を向上させ、卒業年次までに学生のうち1割以上がTOEICのAレベル(860点)に到達できるよう組織的に指導・支援し、達成を目指す。 イ 地域創造学部 (ウ) 公共政策学科が掲げる高い目標 ○公共性の高い地域貢献活動等の経験を積ませることによって学生の社会貢献意識を高めさせるとともに、教育による能力開発や日々の生活指導を積極的に行うことで、公務員を希望する学生の公務員就職率を60%とすることを旨とする。 ○卒業年次までに学生の1割以上が卒業要件の上位レベル(日経TEST520点、ニュース時事能力検定1級のいずれか)に到達できるよう組織的に指導・支援し達成を目指す。 (エ) 実践経済学科が掲げる高い目標 ○「企業インターンシップ」(2年次必修科目)において、

変更後				変更前			
		教員が事前指導、成果発表会、事後指導を行い、学生に対して実践力（諸課題の分析、解決能力等）を身に付けさせる。その結果5割以上の学生が、受入企業に対して課題提案を行うこと等を通じて高い評価を受けることを目指す。 ○卒業年次までに学生のうち1割以上が卒業要件の上位レベル（日経TEST520点）に到達できるよう組織的に指導・支援し達成を目指す。 ウ 国際社会学部 （オ）国際社会学科が掲げる高い目標 ○【英語選択者】国際情勢や経済、メディアについて英語で解説する授業科目を多く取り入れ、学生の国際感覚を磨く。さらなるコミュニケーション能力の向上を目指し、卒業年次までに英語選択者の1割以上がTOEICのAレベル（860点）または他の検定において同レベルに到達できるよう組織的に指導・支援し、達成を目指す。 【中国語選択者】国際情勢や経済、メディアについて中国語で解説する授業科目を多く取り入れ、学生の国際感覚を磨く。さらなるコミュニケーション能力の向上を目指し、中国語選択者の半数以上が中国語検定準1級、または他の検定において同レベルに到達できるよう組織的に指導・支援し、達成を目指す。 エ 情報システム学部			教員が事前指導、成果発表会、事後指導を行い、学生に対して実践力（諸課題の分析、解決能力等）を身に付けさせる。その結果5割以上の学生が、受入企業に対して課題提案を行うこと等を通じて高い評価を受けることを目指す。 ○卒業年次までに学生のうち1割以上が卒業要件の上位レベル（日経TEST520点）に到達できるよう組織的に指導・支援し達成を目指す。 ウ 国際社会学部 （オ）国際社会学科が掲げる高い目標 ○【英語選択者】国際情勢や経済、メディアについて英語で解説する授業科目を多く取り入れ、学生の国際感覚を磨く。さらなるコミュニケーション能力の向上を目指し、卒業年次までに英語選択者の1割以上がTOEICのAレベル（860点）または他の検定において同レベルに到達できるよう組織的に指導・支援し、達成を目指す。 【中国語選択者】国際情勢や経済、メディアについて中国語で解説する授業科目を多く取り入れ、学生の国際感覚を磨く。さらなるコミュニケーション能力の向上を目指し、中国語選択者の半数以上が中国語検定準1級、または他の検定において同レベルに到達できるよう組織的に指導・支援し、達成を目指す。 エ 情報システム学部		

変更後			変更前		
		(カ) 情報システム学科が掲げる高い目標 ○次の資格取得者、イベント等での参加者及び入賞者を卒業年次までに総計5名以上輩出できるよう組織的に指導・支援し達成を目指す。 【資格】 ・情報処理技術者試験※レベル3以上 ・情報技術分野（基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験）と情報デザイン分野（CG-ARTS検定※エキスパート（マルチメディア検定※を除く））の両分野における卒業要件資格の複数取得 【イベント等】 ・情報技術系コンテスト入賞（プログラミング・アプリケーション開発） ・情報デザイン系コンテスト入賞（映像・CG・グラフィックデザイン） ・課題解決系ビジネスコンテスト入賞 ・九州大会以上の学会・研究会・シンポジウムへの投稿・発表 (キ) 情報セキュリティ学科が掲げる高い目標 ○次の資格取得者、イベント等への参加者及びこれらと同等以上のレベルを達成した学生を卒業年次までに総計8名（ただし令和5年度については5名）以上輩出できるよう組織的に指導・支援し達成を目指す。 【資格】 ・国際的なセキュリティ資格（CompTIA Security+※）			(カ) 情報システム学科が掲げる高い目標 ○次の資格取得者、イベント等での参加者及び入賞者を卒業年次までに総計5名以上輩出できるよう組織的に指導・支援し達成を目指す。 【資格】 ・情報処理技術者試験※レベル3以上 ・情報技術分野（基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験）と情報デザイン分野（CG-ARTS検定※エキスパート（マルチメディア検定※を除く））の両分野における卒業要件資格の複数取得 【イベント等】 ・情報技術系コンテスト入賞（プログラミング・アプリケーション開発） ・情報デザイン系コンテスト入賞（映像・CG・グラフィックデザイン） ・課題解決系ビジネスコンテスト入賞 ・九州大会以上の学会・研究会・シンポジウムへの投稿・発表 (キ) 情報セキュリティ学科が掲げる高い目標 ○次の資格取得者、イベント等への参加者及びこれらと同等以上のレベルを達成した学生を卒業年次までに総計8名（ただし令和5年度については5名）以上輩出できるよう組織的に指導・支援し達成を目指す。 【資格】 ・国際的なセキュリティ資格（CompTIA Security+※）

変更後			変更前		
		・国際的なネットワークベンダ資格（シスコ社 CCENT/CCNA Security※） ・情報処理技術者試験レベル3以上 ・スキル標準ユーザー協会※が公表している「ITSSのキャリアフレームワークと認定試験・資格とのマップ※」記載の資格レベル3以上 【イベント等】 ・情報技術系コンテストで予選通過、または上位50%以上の順位取得(プログラミング・アプリケーション開発) ・選抜あり情報系人材育成プログラムで修了認定 ・Basic SecCapコース※において、Basic SecCap8またはBasic SecCap10認定 ・課題解決系ビジネスコンテスト入賞 ・九州大会以上の学会・研究会・シンポジウムへの投稿・発表 オ 看護栄養学部 (ク) 看護学科 ○看護師国家試験において合格率100%を目指し、少なくとも国公立大学平均水準を確保する。 (ケ) 栄養健康学科 ○管理栄養士国家試験において合格率100%を目指し、少なくとも国公立大学平均水準を確保する。			・国際的なネットワークベンダ資格（シスコ社 CCENT/CCNA Security※） ・情報処理技術者試験レベル3以上 ・スキル標準ユーザー協会※が公表している「ITSSのキャリアフレームワークと認定試験・資格とのマップ※」記載の資格レベル3以上 【イベント等】 ・情報技術系コンテストで予選通過、または上位50%以上の順位取得(プログラミング・アプリケーション開発) ・選抜あり情報系人材育成プログラムで修了認定 ・Basic SecCapコース※において、Basic SecCap8またはBasic SecCap10認定 ・課題解決系ビジネスコンテスト入賞 ・九州大会以上の学会・研究会・シンポジウムへの投稿・発表 オ 看護栄養学部 (ク) 看護学科 ○看護師国家試験において合格率100%を目指し、少なくとも国公立大学平均水準を確保する。 (ケ) 栄養健康学科 ○管理栄養士国家試験において合格率100%を目指し、少なくとも国公立大学平均水準を確保する。

変更後	変更前						
(3) 【5】～(5) 【8】略 【9】 <u>(令和8年度～令和10年度)</u> <u>学生が主体的に県内自治体や県内企業等を選択する意思決定の支援として、県内企業等による企業説明会や県内企業等に就職した卒業生との交流会の開催など、県内就職の魅力を伝える取り組みを実施する。また、長崎未来共創プロジェクト（仮称）を通じ、県内企業等と連携し、産業界が求める人材を育成するとともに、県内企業等の成長を支援することで、県内就職の向上に努める。</u> <table border="1" data-bbox="210 595 1095 740"> <tr> <td data-bbox="210 595 356 740">達成水準</td><td data-bbox="356 595 1095 740">① <u>長崎未来共創プロジェクト（仮称）へ連携協力する県内事業所数 300 事業所（令和12年度）を目指し、令和10年度までに135 事業所（累計）と連携する。</u></td></tr> </table> <u>(令和5年度～令和7年度)</u> 学生が主体的に県内自治体や県内企業等を選択する意思決定の支援として、県内企業等による企業説明会や県内企業等に就職した卒業生との交流会の開催など、県内就職の魅力を伝える取り組みを実施する。 また、県及び県内企業等との連携による取り組みを通じて、教職員においても県内就職・県内企業等への理解を深め、教職員の役割分担に基づいた協働により、学生の県内定着促進に取り組む。 県内就職向上プロジェクトチームにおいては、県内就職向上を具体化するための計画を策定するとともに、学内取組状況を把握し、必要に応じて改善を行う。 <table border="1" data-bbox="221 1224 1095 1457"> <tr> <td data-bbox="221 1224 356 1457">達成水準</td><td data-bbox="356 1224 1095 1457"> ① 新規学卒就職者に対する県内就職者の割合 44%（令和7年度）を目指し、以下の取り組みを行う。 ・県内就職向上プロジェクトチームにおける計画策定及び進捗管理等 ・教職員が連携して実施する、県内企業等に就職した卒業生 </td></tr> </table>	達成水準	① <u>長崎未来共創プロジェクト（仮称）へ連携協力する県内事業所数 300 事業所（令和12年度）を目指し、令和10年度までに135 事業所（累計）と連携する。</u>	達成水準	① 新規学卒就職者に対する県内就職者の割合 44%（令和7年度）を目指し、以下の取り組みを行う。 ・県内就職向上プロジェクトチームにおける計画策定及び進捗管理等 ・教職員が連携して実施する、県内企業等に就職した卒業生	(3) 【5】～(5) 【8】略 【9】 学生が主体的に県内自治体や県内企業等を選択する意思決定の支援として、県内企業等による企業説明会や県内企業等に就職した卒業生との交流会の開催など、県内就職の魅力を伝える取り組みを実施する。 また、県及び県内企業等との連携による取り組みを通じて、教職員においても県内就職・県内企業等への理解を深め、教職員の役割分担に基づいた協働により、学生の県内定着促進に取り組む。 県内就職向上プロジェクトチームにおいては、県内就職向上を具体化するための計画を策定するとともに、学内取組状況を把握し、必要に応じて改善を行う <table border="1" data-bbox="1245 1224 2119 1457"> <tr> <td data-bbox="1245 1224 1379 1457">達成水準</td><td data-bbox="1379 1224 2119 1457"> ① 新規学卒就職者に対する県内就職者の割合 44%（令和7年度）を目指し、以下の取り組みを行う。 ・県内就職向上プロジェクトチームにおける計画策定及び進捗管理等 ・教職員が連携して実施する、県内企業等に就職した卒業生 </td></tr> </table>	達成水準	① 新規学卒就職者に対する県内就職者の割合 44%（令和7年度）を目指し、以下の取り組みを行う。 ・県内就職向上プロジェクトチームにおける計画策定及び進捗管理等 ・教職員が連携して実施する、県内企業等に就職した卒業生
達成水準	① <u>長崎未来共創プロジェクト（仮称）へ連携協力する県内事業所数 300 事業所（令和12年度）を目指し、令和10年度までに135 事業所（累計）と連携する。</u>						
達成水準	① 新規学卒就職者に対する県内就職者の割合 44%（令和7年度）を目指し、以下の取り組みを行う。 ・県内就職向上プロジェクトチームにおける計画策定及び進捗管理等 ・教職員が連携して実施する、県内企業等に就職した卒業生						
達成水準	① 新規学卒就職者に対する県内就職者の割合 44%（令和7年度）を目指し、以下の取り組みを行う。 ・県内就職向上プロジェクトチームにおける計画策定及び進捗管理等 ・教職員が連携して実施する、県内企業等に就職した卒業生						

変更後			変更前		
		との交流会開催 ・教職員と県内企業等との情報交換（県内企業訪問等 300 社） ・学科の特色や学生のスキルに合わせた、個別学生への働きかけを含む県内就職（誘致企業等への就職を含む）支援の展開			との交流会開催 ・教職員と県内企業等との情報交換（県内企業訪問等 300 社） ・学科の特色や学生のスキルに合わせた、個別学生への働きかけを含む県内就職（誘致企業等への就職を含む）支援の展開
(6) 【10】 ～ (7) 【12】 略			(6) 【10】 ～ (7) 【12】 略		
2 研究に関する目標を達成するための措置			2 研究に関する目標を達成するための措置		
(8) 産学官連携の共同研究の推進			(8) 産学官連携の共同研究の推進		
【13】 <u>（令和 8 年度～令和 1 0 年度）</u> <u>地域連携センター（情報セキュリティ分野については情報セキュリティ産学共同研究センター）を中心に、企業、自治体等との連携・研究のマッチングなどを行い、本学の強み・特色を生かした共同研究・受託研究を推進する。</u>			【13】		
達成水準		① 共同研究と受託研究の合計件数 39 件（毎年度／情報セキュリティ産学共同研究センターを含む。）	達成水準		① 共同研究と受託研究の合計件数 25 件（毎年度）
<u>（令和 5 年度～令和 7 年度）</u> 地域連携センターを中心に、企業、自治体等との連携・研究のマッチングなどを行い、本学の強み・特色を生かした共同研究・受託研究を推進する。			地域連携センターを中心に、企業、自治体等との連携・研究のマッチングなどを行い、本学の強み・特色を生かした共同研究・受託研究を推進する。		
達成水準		① 共同研究と受託研究の合計件数 25 件（毎年度）	達成水準		① 共同研究と受託研究の合計件数 25 件（毎年度）
【14】 <u>（令和 5 年度～令和 7 年度）</u> 情報セキュリティ産学共同研究センターにおいて、企業等と連携し、産学の共創の場として学術的・先進的な研究に取り組む。			【14】 情報セキュリティ産学共同研究センターにおいて、企業等と連携し、産学の共創の場として学術的・先進的な研究に取り組む。		

変更後			変更前		
	達成水準	① 共同研究数 39 件（令和 7 年度までの累計）		達成水準	② 共同研究数 39 件（令和 7 年度までの累計）
(9) 【15】 略			(9) 【15】 略		
3 地域貢献に関する目標を達成するための措置 略			3 地域貢献に関する目標を達成するための措置 略		
II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置			II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置		
1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置 略			1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置 略		
2 人事の適性化に関する目標を達成するための措置 略			2 人事の適性化に関する目標を達成するための措置 略		
III 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置			III 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置		
1 財務基盤の強化及び効率的な運営に関する目標を達成するための措置 略			1 財務基盤の強化及び効率的な運営に関する目標を達成するための措置 略		
IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置			IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置		
1 評価の充実に関する目標を達成するための措置 略			1 評価の充実に関する目標を達成するための措置 略		
2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置 略			2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置 略		
V その他業務運営に関する目標を達成するための措置			V その他業務運営に関する目標を達成するための措置		
(21) 教育研究施設等の計画的整備・管理 略			(21) 教育研究施設等の計画的整備・管理 略		
VI その他の記載事項			VI その他の記載事項		
1 予算～6 県の規則で定める業務運営に関する事項 略			1 予算～6 県の規則で定める業務運営に関する事項 略		